

ConBio2017大会運営に ついてのアンケート 集計結果

ポジション別:大学院生

回答者数:267名

アンケート結果を公表します。具体的な個人名、施設名を伏字とした他は、一切の加工しておりません。自由記述欄の批判的なご意見の中に、事実誤認に基づくものが多数ある事を申し添えます。ご注意ください。

2017年度生命科学系学会合同年次大会 (ConBio2017)

大会長

第40回日本分子生物学会年会 年会長 篠原 彰

第90回日本生化学会大会 会 頭 大野茂男

質問1. ConBio2017に参加されましたか

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 参加した	265	99.3%							
回答2 参加しなかった	2	0.7%							
合計	267								

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問2. あなたのポジションは

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 学部学生	0	0.0%							
回答2 大学院生	267	100.0%							
回答3 ポスドク等非常勤研究者	0	0.0%							
回答4 企業研究者	0	0.0%							
回答5 大学・研究所等の常勤研究者	0	0.0%							
回答6 その他	0	0.0%							
合計	267								

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問3. あなたの年齢は

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 19歳以下	0	0.0%							
回答2 20-24歳	121	45.3%							
回答3 25-29歳	121	45.3%							
回答4 30-34歳	17	6.4%							
回答5 35-39歳	4	1.5%							
回答6 40-44歳	3	1.1%							
回答7 45-49歳	1	0.4%							
回答8 50-54歳	0	0.0%							
回答9 55-59歳	0	0.0%							
回答10 60-64歳	0	0.0%							
回答11 65-69歳	0	0.0%							
回答12 70歳以上	0	0.0%							
回答13 回答しない	0	0.0%							
合計	267								

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問4. 所属する学会についてお聞きます <複数回答可>

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 日本分子生物学会	132	49.4%							
回答2 日本生化学会	85	31.8%							
回答3 協賛団体	94	35.2%							
回答4 協賛団体以外の学会	31	11.6%							
回答5 その他	0	0.0%							
合計	342								

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問4-3. 協賛団体 詳細 <複数回答可>

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 日本医学会連合	0	0.0%							
回答2 生物科学学会連合	0	0.0%							
回答3 自然史学会連合	0	0.0%							
回答4 日本RNA学会	2	2.1%							
回答5 日本味と匂学会	1	1.1%							
回答6 日本医真菌学会	0	0.0%							
回答7 日本遺伝学会	4	4.3%							
回答8 日本遺伝子細胞治療学会	0	0.0%							
回答9 日本宇宙生物科学学会	1	1.1%							
回答10 日本栄養・食糧学会	3	3.2%							
回答11 日本エピジェネティクス研究会	2	2.1%							
回答12 日本解剖学会	1	1.1%							
回答13 日本癌学会	7	7.4%							
回答14 日本がん予防学会	0	0.0%							
回答15 日本寄生虫学会	1	1.1%							
回答16 日本ゲノム編集学会	0	0.0%							
回答17 日本ケミカルバイオロジー学会	5	5.3%							
回答18 日本細菌学会	5	5.3%							
回答19 日本細胞生物学会	11	11.7%							
回答20 日本酸化ストレス学会	0	0.0%							
回答21 日本時間生物学会	4	4.3%							
回答22 日本実験動物学会	0	0.0%							
回答23 日本神経病理学会	2	2.1%							
回答24 日本人類遺伝学会	1	1.1%							
回答25 日本生物物理学会	10	10.6%							
回答26 日本生理学会	3	3.2%							
回答27 日本蛋白質科学学会	13	13.8%							
回答28 日本動物学会	7	7.4%							
回答29 日本バイオインフォマティクス学会	1	1.1%							
回答30 日本発生生物学会	4	4.3%							
回答31 日本比較内分泌学会	0	0.0%							
回答32 日本微生物生態学会	1	1.1%							
回答33 日本病理学会	4	4.3%							
回答34 日本プロテオーム学会	1	1.1%							
回答35 日本放射線影響学会	3	3.2%							
回答36 日本免疫学会	5	5.3%							
回答37 日本薬理学会	4	4.3%							
合計	106								

※割合は質問4-3「協賛団体」の回答者数を母数にして算出しています

質問5. ConBio2017に参加する目的は？ <複数回答可>

	項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
回答1	自身の研究成果の発表と宣伝	225	84.3%						
回答2	最新の研究成果の情報の獲得	233	87.3%						
回答3	研究の打ち合わせ	10	3.7%						
回答4	知り合いとの交流	66	24.7%						
回答5	就職活動	10	3.7%						
回答6	その他	5	1.9%						
	合計	549							

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問6. 質問5の目的はConBio2017によって達成できましたか？ <複数回答可>

	項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
回答1	期待通りに達成できた	164	61.4%						
回答2	達成できたが期待よりはできなかった	103	38.6%						
回答3	達成できなかった	4	1.5%						
回答4	その他	4	1.5%						
	合計	275							

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問7. ConBio2017の参加費は？ <複数回答可>

※事前参加登録費: 会員(一般)11,000円、会員(学生)3,000円、非会員(一般)17,000円、非会員(学生)5,000円

	項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
回答1	一般参加費は高すぎる	66	24.7%						
回答2	一般参加費は適切である	37	13.9%						
回答3	一般参加費は安すぎる	0	0.0%						
回答4	学生参加費は高すぎる	50	18.7%						
回答5	学生参加費は適切である	190	71.2%						
回答6	学生参加費は安すぎる	3	1.1%						
回答7	その他	9	3.4%						
	合計	355							

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問8. ConBio2017とこれまでの単独年会・大会、合同大会などと比較して全体的な感想、ご意見をお聞かせください

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 よかった	193	72.3%							
回答2 よくなかった	15	5.6%							
回答3 どちらでもない	46	17.2%							
回答4 その他	13	4.9%							
合計	267								

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問9. ConBio2017の規模は？

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 適当な規模である	148	55.4%							
回答2 大きすぎる	110	41.2%							
回答3 その他	9	3.4%							
合計	267								

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問10. ConBio2017の適切と思う会期は？

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 4日間	161	60.3%							
回答2 3日間	101	37.8%							
回答3 その他	5	1.9%							
合計	267								

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問11. ConBio2017の開催期間に週末、祝日を含めるべきと思いますか

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 全て平日	151	56.6%							
回答2 土曜日を含んだ方が良い	91	34.1%							
回答3 日曜日、祝日を含んだ方が良い	18	6.7%							
回答4 その他	7	2.6%							
合計	267								

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問12. ConBio2017の適切と思う開催時期は？

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 このままの12月上旬が良い	208	77.9%							
回答2 9月下旬が良い	55	20.6%							
回答3 別な時期が良い	2	0.7%							
回答4 具体的な好ましい時期を記載してください	2	0.7%							
合計	267								

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問13. オンデマンド配信について、参加者の立場からのご意見をお聞きかせください <複数回答可>

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 プレナリーレクチャーの「オンデマンド配信」動画が半永久的に保存・公開されることは、生命科学分野全体のためになり良い	170	63.7%							
回答2 プレナリーレクチャーの「オンデマンド配信」は参加者のみの期間限定特典とするべき	28	10.5%							
回答3 シンポジウム・ワークショップを「オンデマンド配信」で視聴できるのは良い	145	54.3%							
回答4 シンポジウム・ワークショップの「オンデマンド配信」はメリットがある	106	39.7%							
回答5 シンポジウム・ワークショップの「オンデマンド配信」はメリットがない	2	0.7%							
回答6 シンポジウム・ワークショップのみならず、一般口頭発表にも「オンデマンド配信」を導入すべき	31	11.6%							
回答7 「オンデマンド配信」の期間は短すぎる	16	6.0%							
回答8 「オンデマンド配信」の期間は長すぎる	0	0.0%							
回答9 「オンデマンド配信」を利用していないのでわからない	46	17.2%							
回答10 その他	9	3.4%							
合計	553								

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問14. オンデマンド配信について、発表者の立場からのご意見をお聞きかせください <複数回答可>

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 シンポジウム・ワークショップの「オンデマンド配信」はメリットがある	207	77.5%							
回答2 シンポジウム・ワークショップの「オンデマンド配信」はメリットがない	22	8.2%							
回答3 その他	38	14.2%							
合計	267								

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問15. ConBio2017における以下の取り組みについて、良かったと思うもの <複数回答可>

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 FAOBMB Programs	31	11.6%							
回答2 高校生発表	25	9.4%							
回答3 製薬・創薬面談コーナー	28	10.5%							
回答4 ランチタイムキャリアセミナー	65	24.3%							
回答5 出展企業への対応(企業展示見学時間帯の設定)	77	28.8%							
回答6 出展企業への対応(企業ランチョンセミナーと他プログラムの並行をできるだけ避けた構成)	79	29.6%							
回答7 出展企業への対応(バーコードリーダー導入による、出展企業への大会参加者[顧客]情報提供)	120	44.9%							
回答8 特になし	60	22.5%							
回答9 その他	3	1.1%							
合計	488								

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問16. シンポジウムとプレナリーレクチャーについて <複数回答可>

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 テーマは適切である	234	87.6%							
回答2 テーマが偏っている	10	3.7%							
回答3 協賛団体の参加により興味深いテーマが増えた	63	23.6%							
回答4 協賛団体の参加により興味深いテーマが減った	18	6.7%							
回答5 海外からのシンポジストの数は適切であった	15	5.6%							
回答6 海外からのシンポジストはもっと増やしたほうがよい	40	15.0%							
回答7 特になし	35	13.1%							
回答8 その他	0	0.0%							
合計	415								

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問17. ワークショップについて <複数回答可>

【当該設問の結果について】

委託先のアンケートシステムの問題により正常に回答が取得できていないことが確認されたため、非公開とさせていただきます。ご了承ください。

質問18. 一般演題について <複数回答可>

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
回答1 プログラム編成・日程振り分けはよかった	128	47.9%						
回答2 プログラム編成・日程振り分けに不満が残った	55	20.6%						
回答3 ポスターセッションの時間(2時間30分)はちょうどよい長さだ	90	33.7%						
回答4 ポスターセッションの時間はもっと長いほうがよい	49	18.4%						
回答5 ポスターセッションの時間はもっと短くてよい	32	12.0%						
回答6 ポスターから一般口頭発表に採択されるシステムはよかった	61	22.8%						
回答7 ポスターから一般口頭発表に採択されるシステムに不満が残った	10	3.7%						
回答8 協賛団体の参加により興味深いテーマが増えた	35	13.1%						
回答9 協賛団体の参加により興味深いテーマが減った	4	1.5%						
回答10 特になし	20	7.5%						
回答11 その他	18	6.7%						
合計	502							

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問19. 企業展示会について <複数回答可>

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 参加した	195	73.0%							
回答2 参加しなかった	45	16.9%							
回答3 よかった	89	33.3%							
回答4 よくなかった	5	1.9%							
回答5 特になし	23	8.6%							
回答6 要望・その他	2	0.7%							
合計	359								

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問20. ランチョンセミナーについて <複数回答可>

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 参加した	104	39.0%							
回答2 参加しなかった	146	54.7%							
回答3 よかった	49	18.4%							
回答4 よくなかった	4	1.5%							
回答5 特になし	19	7.1%							
回答6 要望・その他	28	10.5%							
合計	350								

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問21. ITシステム(WEBシステム・アプリ)について <複数回答可>

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 基本機能である「プログラム検索・要旨閲覧」は使いやすかった	186	69.7%							
回答2 基本機能である「プログラム検索・要旨閲覧」が使いにくかった	32	12.0%							
回答3 WEBシステムとアプリで「マイスケジュール」が同期できて便利だった	109	40.8%							
回答4 「マイスケジュール」が使いにくかった	21	7.9%							
回答5 「会場ナビ機能」が役に立った	33	12.4%							
回答6 「会場ナビ機能」は役に立たなかった	27	10.1%							
回答7 アプリについてはオフライン利用のみで十分であると思う	12	4.5%							
回答8 「SNS機能(参加者⇄発表者)」が役に立った	18	6.7%							
回答9 ITシステム全般について評価していない	4	1.5%							
回答10 特になし	33	12.4%							
回答11 その他	19	7.1%							
合計	494								

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問22. 今後の大会の開催形式について <複数回答可>

	項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
回答1	今回と同様に多くの学会が参加する形式の開催がよい	171	64.0%						
回答2	分子生物学会と生化学会のみ合同開催がよい	50	18.7%						
回答3	分子生物学会・生化学会それぞれ単独開催がよい	31	11.6%						
回答4	分子生物学会または生化学会と他学会との合同開催がよい	13	4.9%						
回答5	分子生物学会または生化学会との合同開催が可能な学会にはどのような学会がありますか	5	1.9%						
回答6	特になし	15	5.6%						
回答7	その他	8	3.0%						
	合計	293							

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問2. あなたのポジションは（その他）

回答者 番号	その他記述
	記述なし

質問4-4. 所属する学会についてお聞きます <複数回答可> (協賛団体以外の学会)

協賛団体以外の学会記述	件数
日本薬学会	4
日本化学会	2
日本細胞性粘菌学会	2
日本薬学会、日本農芸化学会	2
音響学会組織培養学会	1
細胞を創る研究会	1
植物生理学会	1
日本CellDeath学会、日本神経学会、日本神経科学会	1
日本がん分子標的治療学会がん代謝研究会	1
日本結晶学会	1
日本血液学会	1
日本細胞生物学会	1
日本獣医学会	1
日本植物生理学会、日本植物学会	1
日本神経科学学会日本認知症学会	1
日本水産学会魚病学会マリンバイオテクノロジー学会	1
日本畜産学会	1
日本糖質学会	1
日本動物細胞工学会	1
日本毒性学会環境化学会	1
日本農芸化学会	1
日本薬学会日本内分泌学会	1
日本臨床細胞学会	1

質問4-5. 所属する学会についてお聞きます <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
	記述なし

質問5. ConBio2017に参加する目的は？ <複数回答可>（その他）

回答者 番号	その他記述
※	企業ブースからサンプルをもらう
※	研究に関連する分野の知り合いを作る
※	普段自身が所属する学会と異なる学会でしたので、異なる分野からの自分の研究へのご意見等をいただきたかった。
※	自身の研究課題について多くの方から意見を頂き、今後の研究アプローチを考えるため。
※	自身の研究に関する助言の取得

質問6. 質問5の目的はConBio2017によって達成できましたか？ <複数回答可>（その他）

回答者 番号	その他記述
※	実績作りのためも参加理由の一つだが、今年はポスター賞などがなく、非常に残念だった。
※	知り合いと話せる時間が、思ったよりもなかった。
※	ポスター発表のあとに口頭発表であったので、口頭発表で興味を持っていただいた方にそれより詳しい情報を与えられなかった。
※	未参加のため

質問7. ConBio2017の参加費は？ <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	学部生は無料にした方がいい。二年前の BMB のときは当時 4 回生で参加が無料であることが非常に助かった。
※	参加費がどこに使われているのか分からないので判断できず。(もし、記載されているならば、そこを見逃してるのかもしれない)
※	院生以上の学生会員費は問題ないが学部生は無料でもよいのではないだろうか
※	今年から、学部学生からも参加費を取るようになったことに関して、不満に思う。私自身は大学院生で、発表者でもあるため、参加費を払うのは当然だが、勉強の機会ということで発表を見に来た学部学生から3000円を取るのは高すぎると思う。また、去年までは参加を取っていなかったのを今年変更したのだから、HP上でもっとわかりやすく表記すべきだと感じた。毎年当研究室では、分子生物学会には皆でそろって参加していたため、いつも通りと思ってよく確認せずに、当日になって会場で高い参加費を取られてしまっていた。参加者に周知させる努力をするべきだったと思う。
※	学部生は無料で参加できるようにしてほしいと思います。
※	発表者は無料にしてほしい
※	非会員の学生の参加費が高いと思う。何かしらの学会の会員である学生は一度でも発表をしたことのある学生であり、一度は年会に参加したことが
※	学部生は今まで通り無料でいいと思います。
※	学部学生の参加費が有料になってしまったことが残念です。私は学部3年だった3年前にパシフィコ横浜で開かれた年会に、地元かつ参加費無料であったので興味本位で足を運びました。自らの研究テーマは決まっていませんでしたが、規模の大きさや流行りの研究に触れることに魅せられ、発表者として参加することに憧れました。今回発表させていただきましたが、当時の経験が少なからずここまでに至る原動力になっていたと感じます。参加費が有料になると私のような学生が行きづらくなると思います。

質問8. ConBio2017とこれまでの単独年会・大会、合同大会などと比較して全体的なご感想、ご意見をお聞かせください（その他）

回答者 番号	その他記述
※	若手優秀発表賞がなかったのが残念
※	ConBio2017が初めて参加した学会だったため、分からない。
※	2年前にも参加したが、なにが変わったのかわからなかった。さまざまなテーマのシンポジウム、ワークショップが開催されており、自分の研究内容とは違う話を聴きに行ける良い機会になった。
※	初めての参加なので比較はできない。
※	協賛自体は良かったのだが、それによりわざわざ分子生物学会に所属しなくても(年会費払ってなくても)大会に参加できた。他の協賛学会にも入っていたので、結果的に分子生物学会の会費が無駄になった気がする。
※	合同のものしか参加したことがない
※	普段聞けないような話がたくさん聞けたのでとても有意義だった
※	その他を知らない
※	学会参加がはじめて
※	多くの学会が協賛したことにより、普段聞かない話を聞くことができ面白かった。しかし、あくまで好奇心がくすぐられただけであり、自身の研究にはそれほど結びつかない。目当の講演までのつなぎ程度であったことが正直な感想である。この部分に意味を見出せない参加者も多くいるのではないか。一方で、分子細胞生物と生化学会の会員ではなくても(改めて会費を払わなくて良くて)参加できることはよかった点である。
※	参加回数が少なく、よくわかりません。
※	参加人数は多くてよかったが、同時に多くの企画が進行しすぎて見れないものが多く残念だった。初日は午後からでないと、前日入り不可な場合企画が見れない

質問9. ConBio2017の規模は？（その他）

回答者 番号	その他記述
※	会場に人があふれ、入室できない会場が多く見売られました。
※	規模は、適切ではあると考えているが、ポスターに審査がなく、しっかりと準備できていない人が多く見受けられた。事前に話を聞こうと下調べして出席しても話にならない学生が多く、はっきり言ってつまらなかった。今後、ポスターの審査をすれば、発表者も準備をしっかりとってくると思う。
※	規模が大きすぎることはないが、出来ればもう少し狭い会場で日程を分散させてほしかった興味のあるセッションがかぶっており、会場が遠いと梯子も難しい
※	生化学からも自分の研究に関連する報告があって大変よかった。
※	かなり大きいですが、これはこれで良いと思う
※	適当な規模であるが、プレナリーレクチャーのような目玉となるような講演を行う会場はもっと大きなキャパシティを持った会場で行ってほしかった。
※	少々大きすぎたように思う。●●先生や●●先生など、著名な先生のお話で会場に入りきらないのは理解できるが、一般のシンポジウムで会場外まで人が溢れていた現状を考えると今回はやりすぎていると思った。十分な会場が用意できないのであれば今回の規模は大きすぎる。また、ポスターの数が多かった。この部分の調整は難しいと思われるが周りきれなかったというのが本音である。更に、ランチョンセミナーには入れず昼食をとる場所に困った。改めて述べると大きすぎた。
※	規模は適当だと思いますが、オルガネラ関連のシンポジウムの日程が初日に被っていたのは残念でした。
※	規模が大きかったため、様々な分野の研究者や研究内容に触れることができ、満足しているが、興味のある講演が同じ時間に重なってしまっていたのは残念だった。

質問10. ConBio2017の適切と思う会期は？（その他）

回答者 番号	その他記述
※	合同大会なら5日以上（神戸開催だったら6日以上）がまわる側としてはありがたい。
※	今回のように一般の口頭発表を許すならば、期間が長くても仕方ないと思う。
※	5日間でポスター発表の時間をもう少し増やしてほしいです。
※	可能なら5日以上
※	どちらでも

質問11. ConBio2017の開催期間に週末、祝日を含めるべきだと思いますか（その他）

回答者 番号	その他記述
※	いつでもいい。
※	どちらでも良いと思います。
※	平日でお願いしたい。宿泊施設が土日含むと確保できない、かつできて値段が高い。
※	どちらでも良い
※	どちらでも良いです。
※	気にしない

質問12. ConBio2017の適切と思う開催時期は？（具体的な好ましい時期）

回答者 番号	具体的な好ましい時期記述
※	11月ぐらいが好ましい
※	10月。学位取得関連の行事が落ち着く時期。

質問13. オンデマンド配信について、参加者の立場からのご意見をお聞きかせください <複数回答可>

回答者番号	回答内容	記述内容
※	その他	オンデマンド配信の動画の形式をもっと一般的なものにして欲しい
※	「オンデマンド配信」の期間は短すぎる	1年間
※	「オンデマンド配信」の期間は短すぎる	1年
※	その他	同時にいくつものシンポジウムがあるので当日参加では見逃す演目が多い。その点では大変良い。一方で、参加費を払っていても、(参加者をお願いするなどして)ルール無視でも見ようと思えば見られるオンデマンドは不公平だと思った。性善説はこういう場合は向かないと思う。
※	その他	メディアエラーで視聴できませんでした。
※	その他	(どの学会もそうだが)ポスター会場でさえコソコソと写真を撮る人がおり、配信動画内の未発表データの秘匿が保障されているか不安に感じた。
※	「オンデマンド配信」の期間は短すぎる	少なくとも半年くらいがいいのではと思います。
※	「オンデマンド配信」の期間は短すぎる	*7, 半年~1年間は公開してほしい
※	その他	スライド+音声だと、発表者の「これ、こちら」が何を指しているのかわからない場合があるため、ポインターの軌跡も一緒に表示できるとなお良いと思う。
※	「オンデマンド配信」の期間は短すぎる/その他	1年程度
※	その他	実質裏番組が無くなるのでオンデマンド配信はとても良いと思う。質疑応答までオンデマンド配信に含めてほしい。
※	その他	競合者の多い内容であればあるほど、誰が見ているかわからないオンデマンド配信を警戒し、発表に含めるデータの新規性が失われるように思います。メリットがないとは思いますが、それ以上に、学会として最新の情報のやり取りを萎縮してしまうぐらいなら、配信はするべきではないと思います。
※	その他	配信されることを先に知っていたら、あんなに必死で席取りしたりしなかったのと思う。
※	「オンデマンド配信」の期間は短すぎる	面白そうなセッションが同時におこなわれていたりしたので、オンデマンド配信で後から聴けるのはとても良かったです。半年間見れると嬉しいです。

質問14. オンデマンド配信について、発表者の立場からのご意見をお聞きかせください <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	オンデマンド配信対象となる発表をしていない。
※	発表者でない
※	今回は発表していないのでわからないが、自分だったらオンデマンド許可を出さないと思う。
※	発表者に当たっていなかったので、よくわかりません。
※	発表者ではありません。
※	発表者ではないのでわからない
※	発表していない
※	発表していない。
※	オンデマンド配信対象の発表者ではなかったので分からない。
※	発表はしていない。
※	発表者ではない
※	Q13に同じ
※	発表者ではない。
※	シンポジウム、ワークショップで発表していない。
※	発表していません

質問15. ConBio2017における以下の取り組みについて、良かったと思うもの <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	大隈先生の講演
※	携帯参加型のセッションに参加しました。自分の意見を伝えることができ、良かったと思います。

質問16-2. シンポジウムとプレナリーレクチャーについて <複数回答可> (テーマが偏っている)

回答者 番号	テーマが偏っている記述
※	聞きたいテーマが何個も重なり移動が大変だった。
※	偏り過ぎていた気がする。分子レベルでのものが少なかった。

質問16-8. シンポジウムとプレナリーレクチャーについて <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
	【当該設問の結果について】 委託先のアンケートシステムの問題により正常に回答が取得できていないことが確認されたため、非公開とさせていただきます。ご了承ください。

質問17. ワークショップについて <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
	【当該設問の結果について】 委託先のアンケートシステムの問題により正常に回答が取得できていないことが確認されたため、非公開とさせていただきます。ご了承ください。

質問18. 一般演題について <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	ポスター発表の翌日に口頭発表ではなく、口頭発表以降にポスター発表にしていきたい。
※	自分は、ポスター発表後に口頭発表、という順番になったが、逆だったらもっと良かったのと思った。
※	土曜日に一般口頭発表を組み込むのは良くないと思った。一般学生の発表を聞くために金曜日まで宿泊して、休日を潰して参加するというのは考えにくく、参加者が減る原因になると思った。知名度が高く、多くの参加者が期待できる先生方の(●●教授など)のシンポジウムこそ、休日に開き、多少の参加費で一般の方も参加できるようにすればいいと思う。
※	口頭発表の日程をもう少し散らしてほしい。
※	ポスター発表が一日の中盤に配置され、夕方におこなう場合よりも、高い意欲・注意をもち活発に議論していたと感じた。
※	ポスター会場の場所が分かれていて移動が大変だった
※	合同の場合も、ポスター賞を導入してほしい。
※	若手奨励賞を設けるべき
※	一般口頭発表とワークショップ等が同一の時間帯で行われているためか、一般口頭発表の聴衆が余りにも少なかった点は改善すべきだと感じた。
※	ポスターを昼過ぎに行くと、ワークショップ等が夕方まで続く。夜は学会の外で様々な交流が生まれるが、それが阻まれるように感じた。
※	似たようなテーマが多かった印象。多いだけならまだ良いのだが、同じ時間に割り当てられており全てを見ることができなかった。改善すべきであると思う。
※	口頭発表の演題を最終日に集中させると、そもそも最終日で人がいない中、かつ口頭発表の演題ごとに人が分散し、会場あたりの人がかかなり少ないのが気になりました。
※	口頭発表、ポスター発表の両方をする場合は、口頭発表がポスター発表の前に行うようにした方が良い。
※	比較的近い分野が固まっていたように思う。
※	ポスターの直後に口頭発表があったため、時間的(会場間の移動)、発表者の体力的な問題があった。
※	ポスター発表後に口頭発表という順序が多いのが良くなかったと思う。
※	同じ時間帯に似たテーマの発表が重なっており、どちらかしか聞けないという状況が多かった。
※	一般演題の後にポスター発表があったほうがよかった。

質問19. 企業展示会について <複数回答可> (要望・その他)

回答者 番号	要望・その他記述
※	化学、分析系の展示が欲しい
※	多くの企業の話が聞けて大変参考になった。実際に購入のきっかけになるものもあった。

質問20. ランチョンセミナーについて <複数回答可> (要望・その他)

回答者番号	要望・その他記述
※	参加枠が少なく埋まるのが早すぎる
※	競争率が高すぎて一日も整理券をもらうことができなかった。学生のためポートアイランド以外に泊まっていたため移動に時間がかかるなど、かなり不利だと思った。
※	ランチョンの数が参加者に対して少なすぎるのではないかと感じた。
※	前回と同様のWebでの事前申し込みにしてほしかった。
※	弁当が少ない。
※	ランチョンが少なく参加できなかった。
※	大会の規模がかなり大きいにも関わらず、チケットの数が少なすぎる。大会本部および企業側の努力が一切見えなかった。
※	午前中の会場に着いたら、もうランチチケットがなくなっていた。
※	事前予約制にしてほしい
※	参加人数に対して、開講されるセミナーの数が少なすぎる。会場付近に昼食をとることのできる施設が少ないことから、もう少し配慮すべき。午前中のランチョンセミナーの事前登録が終了するのが早すぎる。ネットで事前登録制にすれば、昼食を含めた予定がもっと立てやすかったように思う。
※	事前web予約希望
※	ランチョンセミナーの数が参加者数にたいしてあってないから、早めに並ぶと他の講演が見れない、他の講演を見てると昼食がもらえない、という状況だった。遠くのホテルをとっている人たちにとっては、朝早くからの整理券確保は大変だった。
※	ランチョンセミナーの参加できる人数が少なすぎる。朝の8:40くらいには券がなくなって参加できなかったのが残念。
※	演題が進行している間にお弁当のために並ばなければいけないのは、良くないと思う。
※	研究ロボット「まほろ」のセミナーは、科学研究のあり方が将来どう変貌するかを考えさせられ、とても良かった。
※	キャバンティが小さすぎる
※	整理券取れず参加できませんでした。お弁当を増やし会場を広くしてください。
※	ランチョンの数が少なすぎる
※	大人たちが昼食のためにガヤガヤと列を作り、受け取った弁当をすし詰めになって人の話を聞きながら急いで食べる様子は非常に品がなく、見苦しい。弁当配布はセミナー後に行うなどして、少なくともセミナーと食事の時間を完全に切り離してもらいたい。
※	ランチョンセミナーの出店数が限られる代わりに、移動販売業者を確保したのは良かった。ただ、12月上旬の寒い季節に、屋内で飲食可能なスペースがかなり限られていたため、屋外で寒そうに食事をする参加者が目立った。
※	人が多すぎて参加できなかった。
※	参加できる人数が少なかったように感じた
※	会場周辺の混雑が深刻であった可能であればより多くのランチョンセミナーを開催してほしい
※	参加者の人数のわりに席数が少なかったように思う
※	9時に会場に着いても既に参加券が配布終了していたので、お弁当及び参加券の配布枚数をもっと増やしてほしい。
※	事前に調べていなかったのが悪かったのですが、参加しようと思った時(朝)には「ランチョンセミナーのランチはすべて終了しました」とアナウンスされていたのが少し残念でした。
※	券、席の枚数が参加者の割に少なすぎる。
※	ランチョンセミナーは当日先着順だが、一定数を事前に抽選してほしい。

質問21. ITシステム(WEBシステム・アプリ)について <複数回答可> (その他)

回答者番号	その他記述
※	アプリから会場地図を見つけにくかった。拡大できないところがあり、老眼対応をして欲しい
※	1つ前の画面に戻るたびページ表示が最上段となるため、もう一度スクロールしなおさなければならなかった。その点が非常に不便だった。
※	宿泊したホテルのWiFiが繋がらず、利用できなかった。
※	一旦検索したプログラムの要旨画面に行くと、そこから前のページに戻ると、一番上の画面になって、直前までスクロールしていた場面までいちいち戻らないといけないのが不便だった。
※	オンラインを使用するにあたりWi-Fi環境が悪い印象。
※	Android版について、プログラムを見るたびに通信をしているようだったが通信が重い場合に手軽でなく、その場合は通信を切って見たほうが早く表示されて便利だったので、不要な通信はしないようにしてほしい。関連して、オフライン状態でもオンラインが必須な機能以外は十分に使えるようにしてほしい。また、全体的にAndroid版はiOS版に比べて完成度が低いように思えた。
※	今回のように発表会場が複数あるとGPSによる案内とかほしい。
※	いいね！の数が研究の励みになった
※	ITシステムがあることを知らなかったので、次回以降是非使用してみたいと思っています。
※	マイスケジュールはシステムは良いが、そのスケジュールが見にくかった
※	全体的にまずまずの使い心地でした
※	ASCBのアプリでは、各講演のページの会場にMAPのリンクが張られており、タップするだけで会場がわかり便利だった。参考にしてはどうか。
※	スケジュール登録やいいね！の人数を表示してくれるのはモチベーションの向上に繋がってよかった。
※	会場内のWi-fiが非常に弱くwi-fiモデルのタブレット端末ではオンラインでの利用ができなかった。
※	付き合いのある研究室のメンバーの発表があることをアプリで知り、ダイレクトメッセージでやり取りをすることで懇親会の調整をすることができたので、とてもよかった。
※	・アプリは大変便利で、学会当日かなり利用した。・参加者の検索機能は不要だと思う(発表者のみで良い)・スケジュールに入れている人数の表示は不要だと思う。
※	自分は使用しませんが、使っている方は非常に多かったように見えました。それだけ、使い勝手が良かったのではないのでしょうか。

質問22-5. 今後の大会の開催形式について <複数回答可> (合同開催が可能な学会)

回答者 番号	合同開催が可能な学会記述
※	日本臨床細胞学会
※	個人的には、医療系の学会等も合同だと良いとも思っています。
※	他分野・例えば日本化学会・日本薬学会・生物物理学会と共催できればより多面的な議論が生まれると思う。参加者にとっても異分野との共同研究の起点となるのでは？
※	植物生理学会
※	発生物学会

質問22-7. 今後の大会の開催形式について <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	単独開催、これまでの合同大会とは異なる視点のワークショップもあり、面白かったが、セッションの数が多すぎてとても見て回れなかった。これからもオンデマンド配信を行うなら、合同でやっても良いと思う。
※	多くの学会が参加する形式は数年に1回が望ましい。
※	規模を大きくするのはいいが、その場合は会費が無駄に感じるので、分子生物学会はやめようと思う。
※	今回の合同開催はよかったが、合同にするのは毎回ではなく数年おきの開催でよいと思う。
※	たまにはこういったお祭りのようなことは良いと思う。しかし毎回は必要ない。オリンピックと一緒に感覚でやってはどうか。
※	毎回こんなに大きな学会でなくてよい。学生が研究室に在籍中に1度ある程度でいいのでは(2~3年?)。

質問23. その他、大会運営全般についてのご意見

回答者番号	意見記述
※	12月の寒い時期に、会場移動のために何度も外に出なければならなかったのが心身的に負担になった。また、会場が多いのはうれしいが、いちいち遠くて移動に時間も労力も割かなければならなかったのが不満だった。クロークが多くて、対応も良かったので、それは満足だった。昼食をとれる場所が周辺に少なく、出張販売もあったが、外のベンチで食べなければならず、過酷だった。そのため、お弁当を食べるためにランチョンセミナーにでると言う人もいたのではないかな。
※	合同大会では会場が分かれていないパシフィコ横浜のような開催地の方が疲れにくい気がします。
※	昼食とる場所が近隣に少なかった。
※	看板の位置がわかりにくく、12会場の看板の前の扉を入ったら9会場だった。
※	分生と生化は毎回一緒に開催してください。二つ別々は非常に面倒くさいです。
※	毎年参加していますが、今年は例年の分子生物学会の魅力が減ってしまったような気がします。参加者は著名人の昔話よりも、最近の研究に興味があるはず。著名人の講演なら、出向かずに配信で視聴すれば十分でした。今年の総会はとて残念でした。
※	非常に快適に、楽しく参加できました。ありがとうございました。特に、土曜日に行われた研究者のキャリア形成についてのランチョンセミナーは、自分の将来について考える良い機会になりました。これからも続けて欲しいです。
※	発表の機会をもらえて大変ありがたかった。ただ、若手賞やポスター賞は設けて欲しかった。(修士学生にとっては、リーディング大学院や学振で実績としてかけるから)
※	Wi-Fiが安定して使えていたのが非常に良かったです。
※	ワークショップで、前の講演が早く終わったため次の発表を予定の時間より早く始めているところがあった。複数の会場を移動を移動しながら聞いていたため、時間通り会場に着いたのに冒頭部分が聞けなかったのが残念だった。
※	人気のあるシンポジウムやワークショップの会場は、人が多く座れない場合が多かった。会場の込み具合をアプリで表示できるようにすると効率良く、発表を聴けると思った。
※	合同の学会であったため人が多かったが休憩するイスの数が少なかった。イスの数を増やして欲しい。気分が悪くなったときの医務室のような部屋があるとうれしい。
※	It was a very good experience for me.I meet many young researchers here. Overall I appreciate it.
※	お昼を食べる環境が悪かった。
※	ランチョンセミナーの軽食の個数をもう少し増やして頂けると、ありがたいです。
※	13会場が狭い 立ち見がしんどかった
※	このようにいろんな学会が一堂に会する学会は視野が広がるのでとてもいいと思いました。生命科学の研究分野の広さと素晴らしさを強く感じました。ぜひまたお願いします。
※	外国人の参加者が今までより目立ち、学生にとっては英語でのディスカッションの機会になった点で良かったです。講演もポスターも非常に混んでいて話を聞けないことも多かったので、規模はもう少し小さくても良いと思いました。
※	ノーベル賞を受賞された海外の有名な研究者の招待講演もして欲しい。
※	大きすぎて回れないので、もっと規模を縮小すべきである。パラレルセッションが多すぎて、聞きたいセッションが重なってしまった。満員で入れないセッションが結構あった。ポスターが多すぎて見きれない。
※	シンポジウムなどの口頭発表における質疑応答時に、スライドをスクリーンに表示できなかったのは非常に不便だと思う。
※	普段聞かないような分野の話が聞けてとても面白かったです。アプリの存在は便利でしたが、言語設定をちゃんと切り替えられなかったことやプログラムが見にくかったことなど少し使いにくい点があったので、少しずつ改善してより使いやすくなればと思います。時間がかぶって見れなかった講演もあったので、オンデマンド配信はとてありがたいです。バーコードで情報を読み取れるのも時短になりますし、時代に即していると思います。
※	初めて参加しましたが、大変勉強になりました。様々な研究者とディスカッションできることで研究意欲が高まり、本当に参加してよかったと感じました。プレナリーレクチャーで●●先生の講演を聞いて、就職を辞めて基礎研究を志したいと思いました。
※	プレナリーレクチャー等で、会場に入りきらなかった人もモニターで見られるようになっていたシステムは良かったが、それでもモニターの数が足りなかったり、モニターの前の床に座り込んでいる人が多数見られた点が残念だった。
※	アプリの導入は、非常に良かった。今回演題数がとても多く、これが無ければ出合えなかった演題があったと思う。
※	オンデマンド配信がされない口頭発表が4日目に同時開催で集中していたのが残念でした。また、演題取り消し分が予告なしに前にずらされて、聞きたかった発表が他の会場との兼ね合いで聞くことができなかったのが残念でした。
※	ポスターと一般口頭を同日に発表しました。ポスターセッション終了後すぐに口頭発表の会場へ移動しなければならず、また会場が広いので移動に時間がかかり、発表者の事前準備時間に遅れました。発表には間に合いましたが、ポスターでの議論が終盤で盛り上がりつつあったのに中途半端で終わってしまったのが心残りです。
※	学会会場へ行く際に、ポータライナーが非常に混んでいたため、会期中は本数を増やすなどの工夫ができるのであれば良いと思いました。
※	各セッションの特徴や目的を端的に説明したページを用意してほしい。ポスターの区割りについても同様。名称だけでは内容が判断できず、スケジュールが組みにくい。
※	●●先生や●●先生の講演はもっと大きな会場ですてほしい。

質問23. その他、大会運営全般についてのご意見

回答者 番号	意見記述
※	今回は合同学会だったため、自身の研究分野だけでなく、興味があった分野についても勉強できました。また参加者が多かったため、発表の際は活発な議論が出来、とても充実した時間を過ごすことが出来ました。是非今後も合同学会をまた開催していただければと思います。
※	参加章と一緒に送られるはずのミニパンフレット(?)が封筒に入っていませんでした。アプリで会場などを調べられたので特に問題はなかったですが、一緒に学会に行った他のメンバーは持っていて少し寂しかったです。アプリと企業ブースを回った際のバーコードシステムは便利でした。
※	ランチョンセミナーや一部のシンポジウムが席が足りず、生で聞けないものがあったのが残念です。